

Ⅵ 令和5年度公共事業再評価 に関する総括表

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
農林水産部農山漁村振興課	林道事業	H20～R8	市町名:添田町 路線名:豊前坊線	<p>○事業の目的 効率的な林業経営の展開や森林の適正な維持管理を図り、また、森林の総合利用の推進、山村の生活環境の整備、また地域産業の振興等を目的とする。</p> <p>○事業概要 延長 L=16,510m 幅員 L=5.0m 利用区域面積 A=902ha ○事業進歩率 93%</p>	4,272,929 (4,573,729)	継続	本路線の整備により、間伐等の森林整備の推進とともに油木ダム上流の水源かん養機能の向上も期待される。
農林水産部農山漁村振興課	県営農村総合整備事業	H24～R6	市町名:久留米市 地区名:久留米東部地区	<p>○事業の目的 秩序ある土地利用を図りながら、活力ある農村を維持するため、農業生産の基盤と農村の生活環境の一体的な整備を行うことにより、農村の生産性の向上を図りつつ、農村の快適な生活環境と定住条件を確保する。</p> <p>○事業概要 農業用排水施設整備 L=6,082m 農道整備 L=6,275m 農業集落道整備 L=1,328m 農業集落排水施設整備 L=963m 集落防災安全施設整備 N=13箇所</p>	2,039,720 (2,225,359)	継続	農業生産基盤及び農村生活環境基盤を整備することにより、生産性の向上のみならず、農村地域の活性化に資することが見込まれる。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名		事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 道路建設課		道路事業	平成27年度 ～ 令和9年度 (予定)	○事業箇所 市町村 大刀洗町 ○事業箇所名 一般国道322号 (第2大刀洗バイパス)	○事業の目的 ・安全な交通の確保 ・活力ある地域づくりの支援 ・緊急輸送道路の機能強化 ○事業概要 延長: 2.6km ○事業進捗率 約57%	1,640,000 (2,900,000)	継続	※事業費の()は、事業期間における総事業費である。 ・本事業は、「安全な交通の確保」、「活力ある地域づくりの支援」、「緊急輸送道路の機能強化」を目的とする事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで57%であり、用地取得も概ね完了している。用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・事業全体の費用便益比(B/C)は1.0を下回るものの、残事業の費用便益比は1.5と投資効率は基準値以上確保されている。 ・通学路の安全性確保が喫緊の課題であり、本事業の実施により多くの児童が交通事故から守られるため、事業完了が強く求められている。 ・国道322号改良促進協議会等からの要望があり、地域の協力体制が整っている。 ・これらのことから、令和9年度(2027年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 道路建設課	道路事業	平成26年度 ～ 令和10年度 (予定)	○事業箇所 那珂川市 ○事業箇所 一般国道385号 那珂川拡幅(Ⅱ期)	○事業の目的 ・広域的な道路ネットワークの機能強化 ・安全な通行空間の確保 ○事業概要 延長:1.0km ○事業進捗率 約81%	2,530,000 (3,100,000)	継続	・本事業は、「広域的な道路ネットワークの機能強化」、「安全な通行空間の確保」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は事業費ベースで81%であり、用地取得については事業費ベースで98%が契約を完了している。 ・広域行政推進会議等からの早期完成要望があり、地元自治体や地域住民の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和10年度(2028年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 道路建設課	道路事業	平成21年度 ～ 令和9年度 (予定)	○事業箇所 久留米市 ○事業箇所 主要地方道久留米柳川線(久留米市工区)	○事業の目的 ・交通混雑の緩和 ・安全な交通の確保 ・緊急輸送道路の機能強化 ○事業概要 延長:2.0km ○事業進捗率 約67%	3,350,000 (5,000,000)	継続	・本事業は、「交通混雑の緩和」、「安全な交通の確保」、「緊急輸送道路の機能強化」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで67%であり、用地は令和5年度中に取得完了の予定である。 ・地域の協力体制は整っている。 ・これらことから、令和9年度(2027年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。		再評価	理由				
担当部課名 県土整備部 道路建設課	事業名称 道路事業	事業期間 平成21年度 ～ 令和17年度 (予定)	市町村・地区等名 ○事業箇所の市町村 粕屋町 ○事業箇所名 主要地方道福岡東環状 線(粕屋工区)	事業の目的・概要・進捗 ○事業の目的 ・広域的な道路ネットワークの機能 強化 ・長者原交差点(主要渋滞箇所) の 交通渋滞の緩和 ○事業概要 延長:1.7km ○事業進捗率 約35%	事業費(千円) 5,610,000 (16,000,000)	再評価 継続	理由 ・本事業は、「広域的な道路ネットワークの機能強化」、「長者原交差点(主要渋滞箇所)の交通渋滞の緩和」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで35%であり、用地取得は75%の完了を見込んでいる。用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・これらのことから、令和17年度(2035年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
担当部課名 県土整備部 道路建設課	道路事業	平成26年度 ～ 令和12年度 (予定)	○事業箇所の市町村 宇美町 ○事業箇所名 主要地方道筑紫野古賀 線(宇美2工区)	○事業の目的 ・物流の効率化による地域産業の 活性化 ・交通安全性の向上 ○事業概要 延長:1.7km ○事業進捗率 約35%	2,210,000 (6,300,000)	継続	・本事業は、「物流の効率化による地域産業の活性化」「交通安全性の向上」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで35%であり、用地取得は55%の完了を見込んでいる。用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・地元自治体の協力体制が整っている。 ・これらのことから、令和12年度(2030年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 道路建設課	道路事業	平成24年度 ～ 令和14年度 (予定)	○事業箇所 須恵町 ○事業箇所名 主要地方道筑紫野古賀 線(須恵工区)	○事業の目的 ・慢性的な交通混雑の解消による 広域的なネットワーク機能強化 ・歩行者・自転車利用者の安全で 安心な道路空間の確保 ○事業概要 延長:3.6km ○事業進捗率 約38%	3,420,000 (9,000,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「慢性的な交通混雑の解消による広域的なネットワーク機能強化」、「歩行者・自転車利用者の安全で安心な道路空間の確保」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで38%の見込みであり、用地取得は53%完了している。 ・期成会及び地元自治体からの要望があり、地域の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和14年度(2032年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 道路建設課	道路事業	平成26年度 ～ 令和10年度 (予定)	○事業箇所 久留米市 大刀洗町 ○事業箇所名 主要地方道 久留米筑紫野線 (北野・大刀洗工区)	○事業の目的 ・物流の効率化による地域産業の活性化 ・緊急輸送道路ネットワークの強化 ・交通安全性の向上 ○事業概要 延長:4.8km ○事業進捗率 約55%	6,060,000 (11,000,000)	継続	・本事業は「物流の効率化による地域産業の活性化」「緊急輸送道路ネットワークの強化」「交通安全性の向上」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで55%であり、用地取得は98%の完了を見込んでいる。用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・地元自治体の協力が整っている。 ・これらのことから、令和10年度(2028年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 道路建設課	道路事業	平成26年度 ～ 令和7年度 (予定)	○事業箇所 大野城市 宇美町 ○事業箇所名 主要地方道飯塚大野城線(乙金2工区)	○事業の目的 ・交通混雑の緩和 ・物流の効率化による地域経済の活性化 ・交通安全性の向上 ○事業概要 延長:0.8km ○事業進捗率 約84%	2,940,000 (3,500,000)	継続	・本事業は、「交通混雑の緩和」、「物流の効率化による地域経済の活性化」、「交通安全性の向上」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率は、事業費ベースで84%(令和5年度末)であり、用地は令和6年度中に取得完了の予定である。 ・地元自治体から早期の完成要望があり、地域の協力が体制も整っている。 ・これらのことから、令和7年度(2025年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

(様式3号)

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名		事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 道路建設課		道路事業	平成26年度 ～ 令和10年度 (予定)	○事業箇所 福智町 ○事業箇所名 主要地方道添田赤池線 (赤池2工区)	○事業の目的 ・観光振興の支援 ・地域産業の活性化 ・救急医療施設へのアクセス向上 ○事業概要 延長:0.6km ○事業進捗率 約24%	340,000 (1,400,000)	継続	<p>※事業費の()は、事業期間における総事業費である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「観光振興の支援」、「地域産業の活性化」、「救急医療施設へのアクセス向上」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで24%であり、用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・地元自治体からの要望があり、地域の協力体制が整っている。 ・これらことから、令和10年度(2028年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 道路建設課	道路事業	平成26年度 ～ 令和13年度 (予定)	○事業箇所 岡垣町 ○事業箇所名 一般県道岡垣宗像線 (山田バイパス)	○事業の目的 ・物流の効率化による地域産業の活性化 ・交通安全性の向上 ○事業概要 延長:1.5km ○事業進捗率 約21%	1,300,000 (6,100,000)	継続	・本事業は「物流の効率化による地域産業の活性化」「交通安全性の向上」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・用地進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで81%であり、用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・地元自治体からの要望があり、地域の協力体制が整っている。 ・他事業からの流用土活用などにより、コスト削減に努める。 ・これらのことから、令和13年度(2031年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 河川整備課	河川事業	平成23年度 ～ 令和13年度 (予定)	○事業箇所の市町村 飯塚市 ○事業箇所名 建花寺川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:2.0km ○事業進捗率 約53%	1,696,000 (3,200,000)	継続	・本事業は、「洪水により浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで53%であり、用地・補償については、97%である。 ・地元住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和13年度(2031年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 河川整備課	河川事業	平成23年度 ～ 令和14年度 (予定)	○事業箇所 飯塚市 ○事業箇所 熊添川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:1.2km ○事業進捗率 約71%	1,207,000 (1,700,000)	継続	・本事業は、「洪水による浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで71%であり、用地・補償については、95%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和14年度(2032年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和43年度 ～ 令和29年度 (予定)	○事業箇所 柳川市 八女市 筑後市 大川市 大木町 ○事業箇所 花宗川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:23.0km ○事業進捗率 約64%	19,520,000 (30,500,000)	継続	・本事業は、「洪水による浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで64%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和29年度(2047年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和30年度 ～ 令和35年度 (予定)	○事業箇所 久留米市 広川町 ○事業箇所名 広川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:19.5km ○事業進捗率 約21%	6,678,000 (31,800,000)	継続	※事業費の()は、事業期間における総事業費である。 ・本事業は、「洪水による浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで21%であり、用地補償については65%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和35年度(2053年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和46年度 ～ 令和11年度 (予定)	○事業箇所 久留米市 ○事業箇所名 上津荒木川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の軽減 ○事業概要 延長:5.5km ○事業進捗率 約91%	9,373,000 (10,300,000)	継続	・本事業は、「洪水による浸水被害の軽減を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで91%であり、用地補償については97%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和11年度(2029年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和26年度 ～ 令和25年度 (予定)	○事業箇所 小郡市 筑紫野市 筑前町 ○事業箇所名 宝満川(曾根田川、山口川)	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:21.5km ○事業進捗率 約55%	16,995,000 (30,900,000)	継続	・本事業は、「洪水による浸水被害の軽減を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで55%であり、用地補償については75%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和25年度(2043年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 河川整備課	河川事業	平成14年度 ～ 令和28年度 (予定)	○事業箇所 久留米市 小郡市 大刀洗町 ○事業箇所名 大刀洗川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の軽減 ○事業概要 延長:12.6km ○事業進捗率 約27%	6,804,000 (25,200,000)	継続	・本事業は、「洪水による浸水被害の軽減を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで27%であり、用地補償については29%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和28年度(2046年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
国土整備部 河川整備課	河川事業	平成26年度 ～ 令和25年度 (予定)	○事業箇所 大刀洗町 ○事業箇所名 陣屋川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の軽減 ○事業概要 延長:3.4km ○事業進捗率 約15%	1,305,000 (8,700,000)	継続	※事業費の()は、事業期間における総事業費である。 ・本事業は、「洪水による浸水被害の軽減を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで15%であり、用地補償については16%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和25年度(2043年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。
国土整備部 河川整備課	河川事業	昭和26年度 ～ 令和30年度 (予定)	○事業箇所 宗像市 ○事業箇所名 釣川(樽見川、大井川、山田川、朝町川)	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:23.1km ○事業進捗率 約77%	13,167,000 (17,100,000)	継続	・本事業は、「洪水による浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで77%であり、用地補償については97%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和30年度(2048年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

		※事業費の()は、事業期間における総事業費である。					
担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和58年度 ～ 令和30年度 (予定)	○事業箇所 福岡市 粕屋町 ○事業箇所名 多々良川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の軽減 ○事業概要 延長:6.8km ○事業進捗率 約77%	22,099,000 (28,700,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「洪水による浸水被害の軽減を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業ベースで77%であり、用地・補償については90%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和30年度(2048年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和50年度 ～ 令和33年度 (予定)	○事業箇所 福岡市 那珂川市 ○事業箇所名 那珂川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:16.1km ○事業進捗率 約47%	31,819,000 (67,700,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「洪水による浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業ベースで47%であり、用地補償については18%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらのことから、令和33年度(2051年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 河川整備課	河川事業	昭和60年度 ～ 令和30年度 (予定)	○事業箇所 大牟田市 ○事業箇所 大牟田川	○事業の目的 ・洪水による浸水被害の解消 ○事業概要 延長:4.4km ○事業進捗率 約16%	2,176,000 (13,600,000)	継続	<p>※事業費の()は、事業期間における総事業費である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「洪水による浸水被害の解消を図る」ことを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで16%であり、用地補償については24%である。 ・地域住民から早期完成要望があり、地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和30年度(2048年度)の事業完成を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 港湾課	海岸事業	昭和43年度 ～ 令和11年度 (予定)	○事業箇所 柳川市 ○事業箇所 柳川海岸	○事業の目的 ・台風による高潮被害から背後地の人命及び財産等を防護する ○事業概要 延長:6.2km ○事業進捗率 約93%	17,812,029 (19,100,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「台風による高潮被害から背後地の人命及び財産等を防護」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで93%であり、用地取得率は100%である。 ・地元自治体の協力体制も整っている。 ・これらことから、令和11年度(2029年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名		事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
国土整備部 砂防課	砂防事業	平成26年度 ～ 令和9年度 (予定)	○事業箇所 古賀市 ○事業箇所 薬王寺川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.08km ² ○事業進捗率 約49%	186,000 (380,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ることを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで49%であり、用地取得は100%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている ・これらことから、令和9年度(2027年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。 	
国土整備部 砂防課	砂防事業	平成26年度 ～ 令和10年度 (予定)	○事業箇所 大牟田市 ○事業箇所 上下方川2	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守る。 ○事業概要 流域面積 A=0.05km ² ○事業進捗率 約36%	130,000 (360,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ることを目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・工事進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで36%である。 ・計画的な工程管理を行うことで、円滑な業務執行が可能である。 ・地元自治体や地域住民との協力体制は整っている。 ・これらことから、令和10年度(2028年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。 	

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
国土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和10年度 (予定)	○事業箇所 朝倉市 ○事業箇所 寒水川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.70km ² ○事業進捗率 約79%	1,900,000 (2,400,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約79%であり、用地取得は約90%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている ・これらことから、令和10年度(2028年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
国土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和8年度 (予定)	○事業箇所 朝倉市 ○事業箇所 塚原谷川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.04km ² ○事業進捗率 約37%	180,000 (490,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約37%であり、用地取得は100%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている ・これらことから、令和8年度(2026年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。							
担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
国土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和10年度 (予定)	○事業箇所 朝倉市 ○事業箇所名 正信沢川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.06km ² ○事業進捗率 約23%	180,000 (780,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約23%であり、用地取得は69%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている ・これらことから、令和10年度(2028年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
国土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和8年度 (予定)	○事業箇所 東峰村 ○事業箇所名 寺村上谷川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.01km ² ○事業進捗率 約14%	39,000 (280,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約14%であり、用地は100%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている。 ・これらことから、令和8年度(2026年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。							
担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和14年度 (予定)	○事業箇所 八女市 ○事業箇所名 栗林川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産 及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.32km ² ○事業進捗率 約52%	580,000 (1,100,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約52%であり、用地取得は100%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている。 ・これらことから、令和14年度(2032年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和7年度 (予定)	○事業箇所 八女市 ○事業箇所名 左手上川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産 及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.51km ² ○事業進捗率 約87%	468,000 (550,000)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約87%であり、用地取得は100%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている。 ・これらことから、令和7年度(2025年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
県土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和11年度 (予定)	○事業箇所 八女市 ○事業箇所 釈形川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産 及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=0.54km ² ○事業進捗率 約48%	350,000 (730,000)	継続	・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約48%であり、用地取得は50%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている ・これらことから、令和11年度(2029年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。
県土整備部 砂防課	砂防事業	令和元年度 ～ 令和12年度 (予定)	○事業箇所 八女市 ○事業箇所 広野川	○事業の目的 ・土砂災害から住民の生命、財産 及び公共施設を守る ○事業概要 流域面積 A=1.27km ² ○事業進捗率 約79%	1,100,000 (1,400,000)	継続	・本事業は、「土砂災害から住民の生命、財産及び公共施設を守ること」を目的とする事業である。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率(令和5年度末)は、事業費ベースで約79%であり、用地取得は100%完了している。 ・地元から早期完成が望まれており、地元自治体や地域住民との協力体制は整っている ・これらことから、令和12年度(2030年度)の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
建築都市部 下水道課	下水道事業	平成6年度～ 令和20年度 (予定)	○事業箇所 小郡市 朝倉市 大刀洗町 ○事業箇所名 筑後川中流右岸流域	○事業の目的 ・公衆衛生の向上 ・生活環境の改善 ・公共用水域の水質保全 ・循環型社会の構築 ○事業概要 ・計画処理区域 2,667.3ha ・計画汚水量 24,200m ³ /日 ○事業進捗率 80%	72,600,000 (91,200,000)	継続	・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率は、事業費ベースで80%であり、用地取得は完了している。 ・地元自治体や地域住民との協力は整っている。 ・よって、令和20年度の事業完了を旨とし、本事業を「継続実施」とする。 ・費用対効果が十分に認められる事業である。
建築都市部 公園街路課	街路事業	令和1年度～ 令和11年度 (予定)	○事業箇所 大川市 ○事業箇所名 都市計画道路 堤上野線	○事業の目的 ・幹線道路のネットワーク強化 ・交通混雑の緩和 ・交通安全性の向上 ○事業概要 ・延長 0.45km ○事業進捗率 約48%	1,190,000 (2,500,000)	継続	・期成会から早期完成要望があり、協力体制も整っている。 ・事業進捗率は、事業費ベースで約48%、用地買収の進捗率は、事業費ベースで約60%の見込みであり、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・計画的な工程管理を行うことで、円滑な事業執行が可能である。 ・よって、令和11年度の事業完了を旨とし、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

公共事業再評価に関する総括表

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
建築都市部 公園街路課	街路事業	平成28年度 ～ 令和11年度 (予定)	○事業箇所 春日市 ○事業箇所 都市計画道路 長浜太 太宰府線須玖北工区	○事業の目的 ・福岡都心部と福岡都市圏南部との連携機能の強化 ・慢性的な交通混雑の緩和 ・交通安全性の向上 ○事業概要 ・延長 0.42km ○事業進捗率 約45%	1,500,000 (3,400,000)	継続	・費用対効果が十分認められる事業である。 ・期成会から早期完成要望があり、協力体制も整っている。 ・事業進捗率は、事業費ベースで約45%の見込みであり、用地未取得箇所については、早期の取得を目指し鋭意交渉中である。 ・地元・警察等の関係者と協議済みであり、工程管理を行うことで、円滑な事業執行が可能である。 ・よって、令和11年度の事業完了を旨指し、本事業を「継続実施」とする。
建築都市部 公園街路課	街路事業	平成29年度 ～ 令和11年度 (予定)	○事業箇所 久留米市 ○事業箇所 都市計画道路 東榎原 町本町線	○事業の目的 ・都市内幹線道路ネットワークの形成 ・慢性的な交通混雑の緩和 ○事業概要 ・延長 0.35km ○事業進捗率 約41%	1,160,000 (2,800,000)	継続	・費用対効果が十分認められる事業である。 ・久留米市は、用地交渉や工事施工に伴う地元調整についても積極的に対応しており、協力体制も整っている。 ・事業進捗率は、事業費ベースで約41%であり、用地取得率は、約47%の見込みであり、早期の用地取得を目指し交渉中である。 ・地元・警察等の関係者と協議済みであり、工程管理を行うことで、円滑な事業執行が可能である。 ・よって、令和11年度の事業完了を旨指し、本事業を「継続実施」とする。

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

(様式3号)

公共事業再評価に関する総括表

※事業費の()は、事業期間における総事業費である。

担当部課名	事業名称	事業期間	市町村・地区等名	事業の目的・概要・進捗	事業費(千円)	再評価	理由
建築都市部 公園街路課	街路事業	平成15年度 ～ 令和8年度 (予定)	○事業箇所 大野城市 ○事業箇所 西鉄天神大牟田線(春日原～下大利)連続立体交差	○事業の目的 ・踏切に起因する交通混雑の緩和 和 ・踏切内での事故危険性の解消 ・鉄道で分断された市街地の一体的な形成 ○事業概要 ・延長 3,299m ○事業進捗率 93%	63,900,000 (68,900,000)	継続	・費用対効果が十分に認められる事業である。 ・事業進捗率は、事業費ベースで約93%である。 ・令和4年度に高架切替が完了し、地元自治体の協力や地元理解など、地域の協力は整っている。 ・よって、令和8年度の事業完了を目指し、本事業を「継続実施」とする。

